

# 「スポーツ拠点づくり推進事業」について

## 1 概要

- 小・中・高校生が参加するスポーツの全国大会を継続的に開催しようとする市町村とスポーツ団体が共同で大会開催計画を策定。
- 「スポーツ拠点づくり推進委員会」（学識経験者、地方団体・スポーツ団体の代表者）が承認し、財政措置等の支援。

《市町村が負担する大会開催経費を助成：1,000万円以内》

## 2 申請状況及び審査結果

- 12月末までに、平成17年度分として、全国各地から111大会について申請あり。
- 1月26日に「スポーツ拠点づくり推進委員会」を開催し、平成17年度第1次分として、29大会（別紙）を選定。

### 【承認大会の例】

青森市のカーリング<高校生>

友部町（茨城県）のアームレスリング<高校生>

大田原市（栃木県）のアウトドア綱引<小中高校生>

南砺市（富山県）のスポーツクライミング<小中高校生>

都留市（山梨県）のグラススキー<小中高校生>

掛川市（静岡県）のトランポリン<小中高校生>

阪南市（大阪府）のビーチバレー<高校生男子>

伊丹市（兵庫県）のなぎなた<高校生>

- 今後、平成17年度第2次分として、数大会を選定予定。  
（本年5月頃に「スポーツ拠点づくり推進委員会」を開催）

	都道府県名 市町村名	大会名	スポーツの種別	参加予定者
1	茨城県 友部町	全国高等学校アームレスリング 選手権大会	アームレスリング	高校生 200名
2	長野県 軽井沢町	全日本少年アイスホッケー大会	アイスホッケー	小学生 14チーム、350名
3	青森県 青森市	カーリング高校生選手権大会	カーリング	高校生 男女各5チーム
4	石川県 小松市	日本カヌーフラットウォーター レーシングジュニア・ジュニア ユース小松大会(日本選手権大 会)	カヌー(フラット ウォーターレーシ ング)	中・高校生 約70チーム、 350~400名
5	山梨県 都留市	ジュニアグラススキー全国大会	グラススキー(回 転、大回転)	小・中・高校生 50人~100 名
6	静岡県 磐田市	全日本高等学校女子サッカー選 手権大会	サッカー	高校生(女子) 24チーム、 約600名
7	北海道 富良野市	全国高等学校選抜スキー大会	スキー(アルペン・ 回転、大回転、 スーパー大回転)	高校生 260名
8	富山県 南砺市	スポーツライミング競技JOC ジュニアオリンピックカップ大会	スポーツライミ ング	小・中・高校生 200名
9	佐賀県 唐津市	JSAFユースセーリングチャンピ オンシップ兼JOCジュニアオリン ピックカップ	セーリング	中・高校生 100名
10	千葉県 白子町	全国小学生ソフトテニス大会	ソフトテニス	小学5年生以下 1,300名
11	三重県 伊勢市	都道府県対抗全日本中学生ソ フトテニス大会	ソフトテニス	中学1・2年生 768名
12	静岡県 掛川市	全日本トランポリントーナメント 競技選手権大会	トランポリン	小・中・高校生 250名(大 学生・一般 50名)
13	兵庫県 伊丹市	全国高等学校なぎなた選抜大 会	なぎなた	高校生(女子) 団体:46 チーム、個人:138名 高校生(男子) 個人:92名
14	埼玉県 さいたま市	全日本選抜高等学校パワーリフ ティング選手権大会兼全日本サ ブジュニアパワーリフティング選 手権大会	パワーリフティ ング	高校生 約150名

15	富山県 氷見市	春の全国中学生ハンドボール選手権大会	ハンドボール	中学生 男女各48チーム
16	大阪府 阪南市	全日本ビーチバレージュニア男子選手権	ビーチバレー	15歳～18歳(男子) 48チーム、96名
17	京都府 大山崎町	全国少年フェンシング大会	フェンシング(フルール)	小・中学生 約500名
18	神奈川県 川崎市	全国高等学校対抗ボウリング選手権大会	ボウリング	高校生 200名
19	福井県 美浜町	全国中学選抜シングルスカル選手権競漕大会(仮称)	ボート(シングルスカル)	中学生 80名
20	静岡県 天竜市	全国高等学校選抜ボート大会	ボート(シングルスカル、ダブルスカル、舵手付クォドルプル)	高校生 672名
21	埼玉県 熊谷市	全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	ラグビーフットボール	高校生 24チーム、648名
22	三重県 四日市市	全日本ジュニア自転車競技選手権大会	サイクルロードレース(公道)	小・中・高校生 約200名
23	宮崎県 都城市	都城弓まつり全国弓道大会	弓道(近的)	中・高校生 約1,400名
24	石川県 輪島市	日本陸上競技選手権大会50km競歩大会兼全日本競歩輪島大会	競歩	中・高校生 170名 (一般100名)
25	佐賀県 佐賀市	ジャパングラスホパー・ジュニアテニスin佐賀(夢はウインブルドンへ)	硬式テニス	小・中学生(13歳以下) 128名
26	栃木県 大田原市	全国青少年アウトドア綱引競技大会	綱引競技	小・中・高校生 50チーム、600名
27	兵庫県 神戸市	全日本高校・大学ダンスフェスティバル	創作ダンス	高校生 約140チーム (大学生 約70チーム)
28	大分県 宇佐市	選抜高校相撲宇佐大会	相撲	高校生 44チーム、174名
29	神奈川県 横浜市	全日本少年軟式野球大会	軟式野球	中学生 16チーム、約400名

# スポーツ拠点づくり推進事業における「承認スポーツ大会」の選定について

平成17年1月7日  
(財)地域活性化センター

## 1 選定の基本原則

- (1) 同一種目、同一対象者の大会は、原則として、1つに限り選定する。
- (2) 原則として、1市町村1大会を選定する。

## 2 選定の必要条件

- (1) 小・中・高校生の大会  
対象外参加者を含む場合については、小・中・高校生の部とその他（一般・大学生）が明確に区分されていること。
- (2) 継続期間  
市町村及びスポーツ団体において、10年、ないしそれに準ずる期間の開催を継続しようとする意思が認められること。
- (3) 全国大会
  - ① 原則として、全国全てのブロックから参加者が参集するものであること。(注)  
(ただし、冬季競技や全国的に普及していない競技などの場合は、実態に応じて判断する。)
  - ② 各地域での予選、他大会（地区大会等）の成績等による選抜が行われるものであること。  
(ただし、予選の開催が困難であると認められる全国的に普及していない競技などの場合は、実態に応じて判断する。)
  - ③ 全国組織のスポーツ団体が、主催、後援、認定などにより、全国大会として支援するものであること。
- (4) 大会の性格  
競技性を重視する大会であって、交流を主目的として開催されるものでないこと。
- (5) 市町村の方針  
当該スポーツの振興と地域の再生に積極的に取り組むとの市町村の方針が明確であること。
- (6) 冠大会  
特定の民間企業が、実質的に大会を主催するものでないこと。
- (7) 既拠点大会
  - ① 青少年があこがれるような大会として既に全国的に認知されており、スポーツ振興及び地域再生の観点からあらためて助成する意義が薄いものでないこと。
  - ② 同一種目、同一対象者の大会で、既に拠点として確立されている他の既存の全国大会がないこと。  
(ただし、既拠点大会に遜色のない全国大会であって、先駆的でユニークな試みである場合など、スポーツ振興及び地域再生の観点から助成する意義が特に認められるものについては、対象とし得るものとする。)

### 3 競合の場合

- (1) 同一種目、同一対象者の大会で、競合する申請があった場合は、参加者の全国的な広がり、参加者の人数、大会の競技水準の高さ、全国組織のスポーツ団体の支援の度合い等の観点から総合的に勘案して、1大会を選定する。
- (2) 同一種目、同一対象者の大会で、既に本事業による助成を受けている全国大会がある場合は、それ以外の大会は原則として対象外とする。
- (3) 上記にかかわらず、上記(1)、(2)の承認スポーツ大会に遜色のない全国大会であって、先駆的でユニークな試みである場合など、スポーツ振興及び地域再生の観点から助成する意義が特に認められる大会については、対象とし得るものとする。

(注) 2 (3) ①の「全国全てのブロックから参加者が参集する」とは、概ね以下の地域から参加者が参集することを意味する。

北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州。